



森のなかま

2008年7月号

No. 3 (継続148)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 島岡 功

編集部より・シリーズスタートのお知らせ

水源林パートナーのご紹介

4月の総会時に、積極的な外部発信で本会の存在感をより大きくしていく旨をお話ししましたが、外部への発信のうえで、私どもの一番近いところにおられるのが、県下を代表する有力企業・団体である水源林パートナーの皆さんです。幸いにして、県森林課(水源の森林推進班)金田さんのご協力もいただくことが出来、今月号から順次、水源林パートナーさんにご登場願って、森林への想いや多彩な取組などをご紹介していただく新企画を採り上げることにいたしました。トップバッターは、この制度を創設する役割を担っていただいた神奈川トヨタ自動車株式会社様です。よろしくお祈りします。(記 森本 正信)

<水源林パートナー制度の概要について>

- ア 県と覚書を締結し、一定期間(原則として5年間以上)継続した寄附(年額60万円以上)と森林活動により、水源の森林づくりに協力を行う。
 - イ 水源林パートナーは、森林活動を行う場としてパートナー林を設定し、水源の森林づくりに協力している旨を表示する表示板を設置することができる。
 - ウ 県は水源林パートナーの森林活動に必要な、指導者、用具のあっ旋などの協力をする。
- <参加協力の状況について 6/30現在> 16企業、6団体 計22者

神奈川トヨタ「プリウス森木会」

10年の「歩み」「恵み」「未来」・・・

歩み 環境にやさしいハイブリッドカープリウスが誕生して10年あまりが経過しました。このプリウスをお届けする自動車ディーラーとして、地域の環境保護に貢献できる活動は何かと様々な検討を重ね、平成10年7月、県のすすめる「かながわ水源の森林づくり」事業に参加する事を決めました。活動の内容は、プリウスの販売にともなう寄附の実施と、県民の皆様と一緒に森林にふれる様々な活動を実施する「プリウス森木会(しんぼくかい)」の発足です。秦野市やビツ峠の「プリウス森木会の森」を拠点として、「植樹」や「自然観察会」を実施。これがモデルケースとなり、翌11年1月「水源林パートナー制度」がスタートしました。当時、行政と企業が手を取り合い環境保護活動に取り組む制度は珍しく、全国から視察団が弊社にお見えになりました。



森林インストラクターさんの案内で、大きな樹を見上げる



参加者の皆さん(右写真)

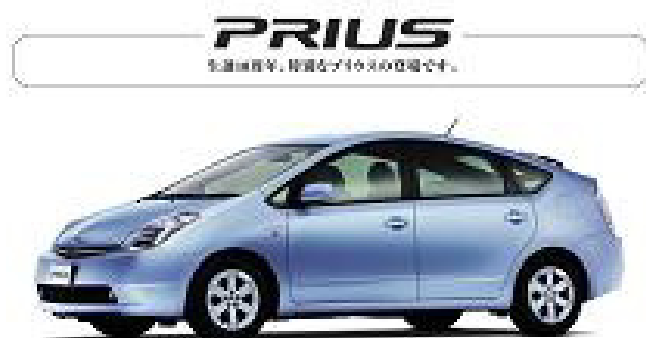
恵み 「プリウス森木会」は小規模な単位で、ふれあいを大切に実施して来た結果、貴重な出逢いに恵まれました。ご参加者の中には、公園の緑化や里山の保全活動をされている方、音楽や絵画を通して環境保護啓発活動をされている方など、それぞれの地域、それぞれの分野で活躍されている方々が沢山おられます。しかし、これまではこうした出逢いを活かせずにはいました。



自然観察会で森林インストラクターさんが出題したクイズに応える参加者の皆さん（左写真）

竹笛の作り方を説明するインストラクターさんを囲む参加者の皆さん（右写真）

未来 今後は、地元で活動する様々な個人や団体との連携も模索しながら、「県の皆さん」や「森林インストラクターの会の皆さん」との協力体制をさらに強化し、「他のパートナー企業」さんへも相互協力を呼び掛けながら、活動の輪を広げて行きたいと考えております。



「プリウス森木会」ご案内パンフレット（左写真）には、活動内容のご紹介のほか、「かながわ水源の森林づくり」についても紹介させていただいております。環境保護関連イベントをはじめ、様々な場面で配布しています。

「プリウス森木会」ご案内パンフレット、プリウスのカタログ等のご用命は、神奈川トヨタ渉外広報部 045-459-2216 まで

木の精気

イチイ

谷田貝 光克

アララギ、オンコの別名を持つイチイ。秋になるとやわらかく赤い肉質の実をつける。

これは甘くて食べられるが、種子はアルカロイドのタキシン、タキシニンを含み有毒である。岐阜地方に多く生育し、飛騨高山地方に伝わる伝統的工芸品、一位一刀彫りに使われる。北海道では垣根や庭木に使われる。小枝は弾性が強いのでアイヌは丸木弓に使っている。欧州では同属の西洋イチイも弓のよい材料となる。シャーウッドの森の英雄ロビン・フッドの弓もイチイで作られていたという。

イチイは生長が遅く、年輪が細かい、また油を多く含み材に光沢があり、色調が美しい。イチイの木肌を生かし、彩色をほどこさない彫刻、一位一刀彫りは江戸末期に大成された。彫ったばかりの白く美しいイチイの木肌には、時が経つにつれ色つやが現れ、落ち着きが増す。刀で仕上げたあと、トクサ、ムクの葉で磨き、白蠟を使う。仕上げに蠟引きするのは、イチイ材に含まれているタンニンを表面に誘い出すためという。蠟とともにタンニンが空気と光に触れて色つやが出てくるしくみだ。

葉は生薬名、一位葉の名を持ち、夏に日干しして使う。含まれるアルカロイドに、血圧を下げ、心臓の鼓動を緩和する働きがある。民間薬として糖尿病、利尿、通経にも使われる。

薬用として使われてきたイチイは今や、ガンを治す木として注目されている。抗ガン成分タキソールが含まれているからだ。タキソールはガンの細胞分裂を阻害する抗ガン物質で、卵巣ガン、乳ガン、白血病などに効き目を発揮する。卵巣ガン、乳ガンを対象に米国などで医薬品としてすでに認可されている。

タキソールは、三十年ほど前、最初に米国の化学者によって太平洋イチイの樹皮から見いだされた。太平洋イチイは米国西部の森林に生育するイチイ属の樹木である。その後、構造研究や臨床実験を行うために多くの太平洋イチイの樹皮がはぎ取られたり伐採されたりして、フクロウがすみかを失うような事態も生じてきた。もともとそれほど蓄積が大きくはない太平洋イチイがこのままでは絶滅する恐れまで出てきて、環境保護、森林資源保護の面から問題になりだした。当然ながらイチイ属の他の樹種でのタキソールの存在が調べられ、その結果、西洋イチイ、日本イチイにも含まれていることがわかった。三年前には米国の二つのグループがタキソールの合成にも成功している。しかし、その合成法は複雑な天然物を化学的に合成したという点で学問的には高く評価されるものの、工程や収率の面から実用性にはほど遠い。

樹体の一部を使った組織培養でタキソールを得ることも考えられているが、工業的にはまだ確立されてはいない。

わが国のイチイの幼木の葉にタキソールの含量が多いこともわかり、苗畑での大量増殖試験も行われている。

イチイ科樹木に量的に多く含まれタキソールと似た構造を持つ物質に手を加えて抗ガン作用を持つようにした化合物も医薬品として使用し出された。

タキソールが初めて見いだされてからすでに三十年を経過しているのをみると実用化にいたるまでの時間に遅さも感じられるが、その半面、科学は確実に、そして着実に日々進んでいる感を与える。治りにくいガンといえども、人間の英知を結集して、ものともせず立ち向かえる日も間近いことであろう。

(森林総合研究所)

本記事はグリーンパワ - (森林文化協会) に記載済みです。

森の中で心の休日…

せっかくの休日、家でゆっくり寝ていたい。でもちょっとだけ頑張って森へ出かけてみませんか？出かけるときはおっくうでも帰ってくる頃には心も体も少し軽くなってるかもしれません。森には人間に働きかけるさまざまな癒し効果があるのです。これから私達はそんな休日のお手伝いになるような活動に取り組んでまいります。まず森からの癒し効果を知って頂きたく当会で講演会を企画しました。のんびりとご自身をいたわる休日のヒントにして頂ければ幸いです。

日時：平成20年7月9日(水)PM6時半～8時半

場所：かながわ県民サポートセンター 305号室

講師：東京農業大学准教授 上原 巖氏

テーマ：「森林療法の現状と今後の展望(課題)」

主催：NPO法人かながわ森林インストラクターの会
森林癒し部会事務局

資料代：500円

申し込み先：s-amano1977@tbn.f-com.ne.jp

天野(自宅)0466-82-1540/090-8508-7797

会場の都合上、定員60名、先着順とさせていただきます。

ナチュラリストへの道遠し(その5)

鈴木孝雄

今から30数年前、農学部林学科という専門課程がありました。現在は、生物環境学科森林環境資源学講座という長々とした名称に変わりましたが。(3文字が15文字に!)森林を、木材生産機能から公益的機能重視の対象へと移行するための、呪文みたいなものではないでしょうか。愛校心のかけらもないOBとしては、森林科ではだめだったのとボヤクしかありません。

私達、森林インストラクターおよび森林ボランティアの活動内容に身近な学問(?)だと思いますので、少し紹介します。

ある地方大学の事例ですが、林学科を特徴づける学習として、演習林実習がありました。樹木・造林・測樹・測量・砂防等の講義実習を付属演習林で行うもので、それぞれ5日ほど、2年半の専門期間中合計すると40日近く入林し、宿舎で合宿生活します。(卒研の選択により更に増えます)他学科の仲間から見ると、時々大学・街から消え、山に遊びに行っただけで単位が取れると羨ましがられ、ヒマリン(暇林)とからかわれていましたが。宿舎はカメムシ付きボロ山小屋で、発動機の自家発電は10時消灯、ローソクの明かりと酒を飲みながらの麻雀で夜が過ぎてゆきます。現地職員の奥さんが賄いをしていました。3月には、積雪の中「ウサギ狩り」をします。有害鳥獣駆除の実習(スギ人工林の食害防止)という名目ですが、実態は雪山で遊び食材を調達し食する楽しいイベントです。巻狩りという手法で、勢子が20数名(学生が担当)木の根元などに潜んで寝ているトウホクノウサギを、ホイホイと怒鳴り声をあげ缶を叩いて驚かせ、出て来たところを追い上げます。射手(猟師)6名位が稜線で待ちかまえ撃ちますが、難しくはないようで銃声の数とほぼ同数の獲物が捕れます。1回20分ほど、3時間で3回行くと20数羽獲れます。今思うと、あの猟師たちはマタギの末裔だったのかもしれない。調理法は、味噌味のウサギ汁がニンニク醤油の煮肉で、酒の肴にします。おぼろげな記憶では、堅く味気無くて旨くはありませんでした。こんなアルバイトもありました。夏休みに、営林局が行っている「ブナの天然更新の調査」の手伝いで2週間ほど奥山に入り、

、研究員2人学生4人がテント生活しながらコドラート調査。毎日キノコのみそ汁にはうんざりしましたが。調査が終わり里に下る途中で温泉に寄り、垢を落として街に戻ります。

就職先といえば、優秀な人は数年に一人林野庁か環境庁に、真面目に勉強した人は各県の林務課に、(私のような)適当に勉強した人は民間(製紙、合板、林業、建設、測量、商社外材部、住宅、森林組合等雑多)にというパターンでした。

過日押し入れを見たところ、数回の引っ越しにも耐えて、当時使った野冊が出て来ました。開いてみると、58種の標本があり、針葉樹はバラバラのゴミ状態でしたが広葉樹はしっかりしていました。やどりき水源林では見ない種も、ヤチダモ・タムシバ・オオカメノキ・ウダイカンバ等いくつかありました。

遠い昔の思い出です。

<森のクラフト教室>開催のおしらせ

日時:平成20年8月23日(土)、24日(日)

午前の部:10:00~12:00、合計4回

午後の部:13:00~15:00 開催

内容:自然物を使ったクラフトづくり

竹笛(ウグイ笛)、ハイテク万華鏡、竹トンボ、ミニ下駄、書けない鉛筆、水鉄砲、木の実のオブジェ、うちわ、の中から選択。

場所:二宮町生涯学習センター「ラディアン」

(ミーティングルーム1)

対象者:各回15名(先着順)5歳児以上(小学3年生以下保護者同伴)

材料代:300円~400円(作品ごとに設定)

持ち物:飲み物、タオル、

申し込み:8月10日(日)までに往復ハガキ、又はFAXに第1希望、第2希望の参加日、午前・午後、参加者全員の住所、名前、電話番号、年齢、作りたいクラフトを記入して下記までお申し込みください。

白畑まどか 〒259-0133

二宮町百合が丘3-6-30-4

FAX:0463-71-9517

森林文化部会

山菜を楽しむ

その4 絞め殺す? ヤブガラシ(A、B) 有田保彰

「絞め殺す」... なんと物騒な言葉ですが、今回は植物の名前の話です。

木に絡みついてよじ登り、やがてすっぽりと覆って光不足にし、弱らせて、ついには.... という、シメコロシイチジクというものがあるそうです。

植物の名前で、私が一番ひどいなと思うのは、ママコノシリヌグイ。茎にたくさんの刺があるところからの連想なのでしょうが、ピンク色のとても可愛い花が気の毒になります。

ヘクソカズラ(これも花がカッコイイ)とかジゴクノカマノフタ(これは食べられます)は、なんと朗らかで、ユーモラスで、葛飾北斎の漫画のようで、思わずニタツとしてしまいます。しかし「ママコノ..」は暗くて悲しい名前です。

美味しいと聞いていても、名前が名前だけにちょっと食べるのをためらっているのは母子草。ホタルブクロも、名前がメルヘンチックなので、ちょっとかわいそうでしたが、食べてみました。ランクはBでした。

唐突ですが、ここでクイズです。

菜っ葉の名前は、ふつうは小松菜とか野沢菜とかいうように「菜(な)」がつくのですが、「草(そう)」がつくものもありますね。二つほど挙げてみてください。

簡単すぎて、クイズにならなかったですか? でも、なぜこれらは「草」なのでしょうかね?

さて「シメコロシ..」の弟分のような名前のヤブガラシ。

これは、手入れの悪い植え込みや垣根、ヤブ、畑などいたる所で見つかります。

お供の人が「雑草」という言葉を使ったとき、「君、雑草という名前の植物はないのだよ」と仰った昭和天皇のお叱りをこうむりそうですが、ヤブガラシは雑草の中の雑草と言えるでしょう。

面白い形の花茎の先に、ごくごく小さな花が集まってつきます。どんな花なのか見てみようという気にもならない、目立たない花ですが、意外に虫には人気があります。一度クロアゲハ2匹とスズメバチ3匹が、一茎の花を競うかのように一斉に群がっているのを見たことがあります。

関東では実をつけないと言われてきましたが、数年前家のすぐそばで、暗緑の実を数粒つけているのを見かけました。温暖化か何かの影響でしょうか。

頭を垂れた形で芽を出したときから、触れるものなら何でも掴まって絡み付こうと、2本の長いヒゲを精一杯伸ばし、あっという間にはびこるつる性の多年草です。ちょっと嫌な感じの



画 有田保彰

暗赤色と5裂した葉が独特で、いちど覚えれば忘れないでしょう。

他のものに覆い被さるように、大きく育つから、つる先は柔らかいので食べられます。

山菜はどれでも天ぷらならokといいますが、カラッと揚がった中にヌルッとした食感があり、しばらくして青臭さを感じます。私は好きなのですが、家族は「遠慮しとく」と、やや逃げ腰です。湯がくとアクでお湯が茶色になりますが、水にさらせば大丈夫です。カラシ和えにすると、なかなか乙な一品になります。

物の本には、煮もの、和えもの、酢のものとして出てきます。クセモノがお好みの方は、焼酎のお相手に何通りか試されてはどうでしょうか?

所かまわず蔓延るためか、アカカズラ、ヤブアラシ、ヤブタオシ、イツツバ、ピンボウグサなど、いかにも嫌われ者らしい別名がたくさんあります。

ウレンボという名前の生薬として利尿のほか、腫れ物、虫さされにも効くそうです。

(つづく)

訂正

前月号「山菜を楽しむ」その3 上から41行目「次に香り。上品ですが、しっかりと主張する。」を「次に香り。上品ですが、しっかりと主張する香りには思わず目を閉じてうっとりしてしまいます。」に訂正いたします。

活動短信

4/27～5/21

槐の会水源林除幕式並びに記念植樹活動

- 日 4月27日(日)
 場 やどりき水源林Bコース入り口付近
 参 槐の会 42名
 県 内海担当課長、金田副主幹、小司主事
 イ 伊藤、山崎、久保

今日はやどりきに新たなパートナー「鎌倉八幡宮槐の会」を迎える日であった。9:30やどりきに着く頃には雨もあがり、既に「槐の会」の方々との金田副主幹がおられ、早速事前の打合せを行った。今日の行事は午前中「延寿の森」の看板の除幕式、植樹そして午後自然観察会を行うことになっていた。10時45分頃から除幕式が始まり、初めに吉田宮司引き続いて県の内海担当課長の挨拶が行われ、終了と共に植栽に取り掛かった。昨日用意した目印の場所に、サクラ10本、ホオノキ15本そしてカエデ20本を植栽するのだが、ほとんどが砂礫層の地盤で穴を掘るのに苦労していたようであった。だが参加者42名で多く瞬く間に植え終わり、昼前にはシカ防除ネットも巻き終った。午後は自然観察会でBコースへ2班、林道コースへ1班を案内することになっていた。いずれのコースもヒメウツギが満開で、ヤマブキは散り掛かっていたが、鎌倉の森林とは違った人工林のいろいろな趣に参加者一同満足されたようだった。夏には子供たちを連れ訪れる計画や秋には植えた木がどうなっているか、見に来る計画など話し合っていた。県の方々和我々でシカ防除ネットの再点検にひと時を過ごし、今日の作業を終了した。(記 8期 久保)

森林文化部会「竹細工とたけのこ料理体験」報告

- 日 5月10日(土) 11日(日)
 (10日・集合10:00～ 11日・解散16:00)
 場 清川村 神奈川県立清川青少年の家
 参 井出、米本、落合、篠木、白畑、武者、松村(俊)、内野、金森、中元、斎藤

【活動内容】

森林文化部会では、毎年一回会員を対象に研修を開催しています。今回は清川青少年の家にて、竹細工(竹ヒゴと六つ目籠作り)とたけのこ料理の体験研修を開催しました。2日間とも雨とあいにくの天候でしたが、新緑が萌え、時折聞こえる野鳥のさえずりに耳を傾けながらの竹籠作りは楽しいものでした。

1. 一日目

落合さん、武者さん、中元さんの指導の元、早速竹ヒゴ作りにとりかかりました。幅(6mm)、厚さ(0.3mm)の竹ヒゴを作るため、鉋で調整しながら左手で材(竹)を動かすことがポイントです。実際に行ってみるとバランスが難しく失敗の連続でしたが、数をこなすことで必要数の竹ヒゴを確保出来ました。

夕食では、焼きたけのこ、煮物、シュウマイ、かやくご飯、たけのこ汁とたけのこづくしを中心に合計で14種類の料理を作り、「春の恵み」に感謝しつつ一日目が終わりました。

2. 二日目

六つ目編みは、籠作りの基本のなる編み方ですが、ポイントは上、下と規則正しく編んでいくことです。自分で分かったと思っていても、間違いを指摘されると何で間違ったか分からないこともあり、いやおうなく作業に熱中させられます。

昼食後は、外側と内側にタガ(輪)を括り付け、細く割いた竹ヒゴを被せ、さらにテープ状のヒゴで巻き付け、何とか時間内に完成させることが出来ました。(ほとんど講師に作ってもらった感がありますが・・・)

完成後は、さらに改良を重ねようとする人や改めて別の籠を作ろうとする人もいて、参加者それぞれが「お土産」を持ち帰った2日間となりました。

(記 8期 斎藤(彰))



自然観察部会 森林探訪

「ウツギの花咲く**やどりき水源林を訪ねて」

日 5月17日(土) 9:00~14:00
場 やどりきバス停 やどりき水源林 Bコース
 - やどりきバス停

参 一般応募30名(参加者23名)
イ 高橋、宮本、高崎、武者、久保、黒澤、三浦、村井、女川、小澤、水口、松山、海野、

いつもは植物などを気にすることなく車で素通りしてしまっている道ですが、ゆっくりと歩くことによりいろいろなものが目に入ってきます。特にこの時期はいろいろなウツギが見られる穴場でもあります。

ヒメウツギはすでに終わっていましたが、卯の花と歌われているウツギを始め、マルバウツギ、ミツバウツギ、ニシキウツギ、コゴメウツギ、ガクウツギ、ツクバネウツギ、それにヤブデマリ、フジ、ミズキ、ハンショウツル、キツネアザミ、スミレの閉鎖花などの花が観察できました。バイカウツギは蕾がかたく残念ながら大きく可憐な花を見ることはできませんでした。新緑で彩られたやどりき水源林の広場で昼食をとり、午後はBコースの植林地で水源林の勉強をした後、朝歩いてきた道を復習しながらやどりきバス停まで戻り解散となりました。

今回の森林探訪は「県のため」で募集することができず参加者が激減しましたが、一班4-5人で和気藹々で心の通った観察会になり参加者は大満足でした。そしてインストラクターも楽しく満足できる説明をすることができました。今回3名のインストラクターがデビューされましたが、担当人数が少なかつたため、参加者をまとめることに気を使う必要がなく、説明に専念することができずまずの船出となりました。

(記 8期 野田)

県民参加の森林づくり(間伐)

日 5月18日(日) 8:30~14:00
場 山北町山北(河村城址周辺)

参 一般参加者 89名
公 茂木・小林・鳥海・稲葉
 看護師青木・山北町2名

イ 井出、清水、長谷山、渡辺(孝)、柏倉、横山、尾崎、伊藤(恭)、坂斎、山崎(實)、松村(晴)、石田(順)、小澤、園田、福島、辻村、

今年度最初の森林づくり活動が始まった。県指定史跡河村城址周辺にての間伐作業である。史跡本城郭広場において茂木課長の挨拶後、作業地に向かう当地は55年生の杉。林内は灌木も茂り各班とも作業性は悪く参加者は大変苦勞し間伐作業に取り組んでいる様子が見受けられる。特に急斜面を受け持つ班は竹が侵入しており伐採木周辺の足場確保の為の灌木や腐食木除去と合わせた二重苦を虐げられている。参加者の努力により時間の経過と共に林内は明るさが

広がって行く終了時には全員が作業の達成感に満足した様子であった。尚今回は国際色豊かでオランダ・韓国・中国からも参加されたことを書き添える。

(記 9期 辻村)

野外体験学習

日 5月21日(水) 9:00~12:00 快晴
場 愛川ふれあい村
参 茅ヶ崎市立浜須賀中学校2年生 87名
 阿倍先生他4名

イ 中津川観察5名(生徒30名=5班)
 L高橋恒通 柏倉紘4 渡辺孝3
 山の観察路5名(生徒57名=10班)
 L中島進市 武者直7 加藤滋8
 斎藤武久6 塩谷弘道7

前日20日の大雨で本番が心配されたが、当日は天気晴朗の観察日和、山へは中島、武者、斎藤、加藤、塩谷の5人が、生徒2班づつを受け持って観察路での観指導を行った。山のリーダー中島が用意した資料を生徒に配布し、加えて生徒個人々の持ったテーマへの対応も含めてキメ細かい指導を行った。

但し前日の雨と当日の気温でヤマビル対応にも時間を取られる場面もあったが被害は無かったそうである。川へは柏倉、渡辺、高橋で中津川の水棲主物の観察を中心に指導を行った。前日の雨で水位が上って、下見の時とは様子が違っていたが、寄の水生生物班から借りた観察用小道具一式を使って実施した。

生徒達も各々川へ入り水棲生物の採取を楽しんだ。数は少なかったが、カジカの幼魚やカワゲラ、カゲロウの幼虫を捕獲、そして観察を行った。水のキレイな処に住む生物と森林と水の関係等の説明指導を行った。ジャージの裾を濡らす生徒も多かったが、川遊びの楽しさも加味した部分もあり良い試みの学習だった。

「3月の風と4月の雨が美しい5月を作る」と言うフレーズの通り、今回の野外体験学習は、好天に恵まれて山でも川でも良い体験ができたと思われる。

(記 3期 高橋)

ようこそ!八ヶ岳へ

期・竹内さんのペンション

八ヶ岳自然ヒュッテをご紹介します

前に甲斐駒、鳳凰、南アの山々、後ろに主峰赤岳そびえたつ南八ヶ岳連峰、左に甲府の町々、その奥に金峰や秩父の山々そして、富士自然の素材を生かした手料理に満足、楽しい一夜を過ごさせて頂きました。皆様もぜひお出かけください。 期 村井
 ホームページのアドレスは <http://homepage3.nifty.com/ysh/> です。

やどりき水源林
ミニガイド

6月のトピックス

・姿は見えなくてもカジカガエルが鳴き、ミソサザイ、オオルリ、キビタキ、クロツグミなどの美声を聴かせてくれます。水棚沢付近では砂防工事のため、地質調査(ボーリング)が行われてます。通行に注意しましょう。(9期 女川氏撮影)



7月の見所・聞き所

・7月は雨の日も多いでしょうが、梅雨が明ければもう夏。やどりき水源林では7月24日(木)に森林づくり体験講座として「水生生物観察と森林散策」が行われます。詳しくは「県のたより」7月号をご覧ください。

「森の案内人」情報

実施時間：毎週土曜・日曜・祝日午後1時より1~2時間程度(冬季休止)

集合：水源林入口ゲート前

内容：森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ・手入れなどについて説明いたします。

参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

問合せ：(社) かながわ森林づくり公社 県民運動課

Tel 0465-85-1900

● ホームページ：

<http://www.ny.ai.rnet.ne.jp/k.sinrin/>

● やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅またはJR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約25分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩35分。寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

ヒメボタルの観察会ご案内

やどりき水源林を囲む山々で唯一山小屋のある<鍋割山>今年も恒例の「ボタルの会」が開かれます。

7月19日(土)~20日(日)

1泊2食：6300円(宿泊は要予約)

翌20日は登山道補修ボランティアがあります。(希望者のみ)

ヒメボタルは陸棲のボタルで黄金色に輝きます。雨×、風×、月夜×、闇夜がチャンスです。鍋割山荘・草野さんまで
自宅：0463-87-3298
携帯：090-3109-3737

森のなかま原稿募集

会員・購読の皆様からの原稿を募集しています。写真、スケッチなども募集しております。

送り先

< 手書き原稿送り先 >

鈴木松弘

〒253-0062

茅ヶ崎市浜見平 16-2-401

Tel/Fax：0467-83-8461

Mail：suzuki-m@tbc.t-com.ne.jp

< メール原稿送り先 >

【本誌】村井正孝

〒226-0002

横浜市緑区東本郷 6-22-1-420

Tel/Fax：045-476-4112

Mail：murapu60dai@yahoo.co.jp

【別冊】金森 巖

〒227-0038

横浜市青葉区奈良 2丁目 10-5

Tel/Fax：045-961-6695

Mail：ik_forester@jcom.home.ne.jp

【CCで】森本正信

〒194-0001

東京都町田市つくし野 2-13-7

Tel/Fax：042-796-6011

Mail：morimoto@bikkuri.co.jp

原稿の締切は毎月20日です。

編集後記

地球温暖化の自然界

は、こうなるんだと予想される日本の現在と50年後の比較をTVで見た。この地球環境を壊した大罪に我も含まれるのか。揺れる。(鈴木)

あちこちで下刈の季節となりました。参加側から指導側に移り、汗の量は減りましたが、責任の重さを実感しています。会報別冊の原稿は、誤字脱字があっても極力電子メールでお願いします。(金森)

今月も暦札からご紹介します。「忙中閑あり 苦中楽あり 死中活あり 壺中天あり 意中人あり 腹中書あり」(安岡 正篤)忙しくて、心は忙殺されないようにしたいものです。(森本)

スマレの花が今でも咲いているって知ってました?

但し花といっても「閉鎖花」といって、花弁は無く、蕾状態のまま自家受粉で種子を作る花?のことです。多田多恵子先生の観察会で初めて知りました。(井出)

聞くは一時の恥 聞かぬは一生の恥(聞かれた方がいい迷惑だったりして..スミマセン)食欲に、食欲に、頑張っております。(村井)

先日、津久井町三井水源林の草刈りに行ってきました。好天に恵まれ気持ちよく作業できました。しかし、岩手・宮城の地震の報を聞き破壊された森林に心痛みました。被災地の皆さんには、お見舞い申し上げます。(森)

「お詫び」

紙面の都合で飯村さん、高橋さんに了承を得「連載」を来月に回させていただきます。

年間購読のお申し込み

「森のなかま」年間購読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込みください。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛まで購読料年2000円をお振込みください。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記してください。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。(領価 200円 送料共)

編集人：森本正信

広報部：井出恒夫、鈴木松弘、村井正孝、金森 巖、森 義徳

ヤマケイ・カルチャークラブ 山岳ライター石丸哲也氏同行

「花の遠足」その時期ならではの花と軽ハイキングを楽しむバスツアーをご紹介します。

戦場ヶ原とホザキシモツケ日帰り	北横岳他と夏の花 2日間	大平山と秋草 日帰り
出発日：7/17(木)	出発日：8/14(木)~	出発日：9/18(木)
横浜駅西口天理ビル前 7:30 集合	横浜駅西口天理ビル前 7:30 集合	横浜駅西口天理ビル前 7:30 集合

ご不明な点がございましたら、下記まで気楽にお問合せください。



〒105-0003 東京都港区西新橋 2-8-11 第7東洋海事ビル

Tel: 03(3503)1911 info@alpine-tour.com

<http://www.alpine-tour.com>

身近な日本の山旅から世界各地の山岳リゾートや辺境の地までアルパインツアーは自然を愛する方々を地球のデコボコへご案内します。次の山旅は、アルパインツアーで出かけてみませんか。